

2024年度広島医療社会科学研究所センター・シンポジウム

# 「終末期医療の現在－看護学、 社会学、法律学の視点から考える」

## シンポジウム概要：

人生の最終段階のQOLの向上やWell-beingの実現のために、終末期医療の過程では保健医療面のほか、生活上の諸側面や意思決定のあり方等、さまざまな課題への適切な対応が求められる。本シンポジウムでは、終末期医療の現状と課題について、看護学、社会学、法律学の立場からの報告と学際的な意見交換、討論を通して、今後のあるべき方向性を探る。

日時：令和7年3月29日（土）13時30分～17時30分

場所：広島大学東千田キャンパス 未来創生センター M304  
オンライン（Teams）併用

主催：広島大学医療社会科学研究所センター・広島大学法学部実務

## 総合司会

孫 璐 氏 （広島大学大学院人間社会科学研究科助教）

## 開会挨拶

江頭 大蔵 氏 （広島大学学術院会議社会科学基礎教育領域長・  
広島大学大学院人間社会科学研究科教授）

## シンポジウム司会進行

浅利 宙 氏 （広島医療社会科学研究所センター副センター長・  
広島大学大学院人間社会科学研究科教授）

## 報告

- 1 「終末期医療・ケアにおける意思決定支援－老年看護学の立場から」  
那須 佳津美 氏（広島大学大学院医系科学研究科講師）
- 2 「ケアのグローバル化と看取りの実際－イタリアにおける質的調査から」  
福島 智子 氏（松本大学大学院健康科学研究科教授）
- 3 「終末期医療（主に治療中止）に関わる法律とガイドラインの現在地」  
新谷 一朗 氏（海上保安大学校教授）

## 閉会挨拶

吉中 信人 氏（広島医療社会科学研究所センター長・広島大学  
大学院人間社会科学研究科教授）

\*入場無料 事前申込不要 どなたでも参加できます  
オンラインは右のQRコードからアクセスしてください

